

# NEWS LETTER

株式会社人財アジア 定期ニュースレター

vol.29

岡村の最近の注目ニュース  ビジネス予備校近況レポート  B-EAT 会活動報告  What's up?

2023年09月

# 2023/09

いつ始めても  
遅すぎることはない。

## ～仕事に“燃える”時代の到来？

コロナ鎮静化によるリアル活動の活発化、株価も高値更新を狙う動き、金利上昇等、ついに日本も動意づいてきた。  
冷静に言えば、企業も人も、将来を先取りして進化する2割の勝者が躍動する時代が始まった。

**卒業生のみなさんは、変化の風を感じ、しっかり前を向いてくれていると思う。**

**受け身な姿勢に戻りそうな人は、B-EAT (EAT 同窓会) に参加し、自分の心に刺激を与えよう。**

組織も人もリズムを刻みながら進化する。フリーズした日本に30年ぶりに始まった振動だ。もちろん、過剰流動性の後始末はどうなるのか？金利が上昇すれば増大する財政負担とどう向き合うのか？等の長期的な不安要素は変わらない。しかし、「停滞するぐらいならとにかく変化を起こせ！」がグローバル流マネジメントの真髄だ。マクロ環境の変化の波を活用して、自らが振動、躍動するチャンスにしてほしい。

身を縮めリスクを指摘すれば評価された時代は終わり、やりがいを求めてリスクテイクする時代の到来だ。

最近、“ゆるブラック企業”という「勤務環境は良いが、成長性ややりがいを感じられない」新たなるブラック企業の定義が若手に広まっている。新鮮な感性で時代の変化を先取りしているのだ。ワークライフバランスが流行った時に、若手が目先の心の安らぎを優先しすぎたら、将来に稼ぐ力を削がれ、生涯の幸せな面積を毀損するのではないかとかなり心配した。やっと人生を長い時間軸で捉え、いまなすべきことを成す風潮が回復し始めたかと歓迎する。

昨今、伝統的な大企業でも研修する機会が増えてきた。過去の成功体験の延長線上で物を考えがちな組織が、ついにやりがい重視の経営にかじを取り始めたのには勇気づけられる。

それでは“やりがい”は一体いかに生まれるのだろうか？

“自分の人生を何歳から逆算するか？”と皆さんに尋ねたい。研修参加者に聞くと、会社の定年に合わせて60歳、65歳と答える方が多い。しかし人生100年時代と考えれば、35-40年も「残りの人生」が続くことになる。「残り」が長すぎないだろうか？そろそろ人生を80歳や100歳から逆算する発想への転換が必要だ。“最期にあなたがやりたい姿はいかなるものか？”

すぐに答えの出ない質問に時間を使うのは、タイパ重視の人には苦痛だろう。だからこそあえて勧奨したい。さんざん悩んだ挙句、こう生きたい！こういう人になりたい！という仮の答えを手に入れば、日々の仕事にやりがいを見つけ、気持ちを燃やしながら向き合う効果を手に入れられる。仮で当然なのだ。こんな人になりたい！と決めつける勇気を持とう。

人は天才でもない限り、自然発火で燃え続けるのは難しい。縮こまりそうになったら、まずは強制的に広い世界に身を投げよう。異なる価値観に触れ、心を震わせ振動するだけで、前に進む勇気生まれる。

今回現役社長としてご多忙のなか寄稿くださった龍造寺社長は、高校時代に米国へ挑戦し、アルバイトから始めて多くのレストランオーナーになった方だ。その成功を投げ捨て、福岡のメーカー経営に取組み世界的に取引先を増やしている。まさに到達と破壊。思いを成し遂げたら心地よい環境を壊し、あらたなるやりがいを追求する姿勢に心が震える。

# 九州から世界へ 一本多機工 龍造寺の挑戦

本多機工株式会社

代表取締役社長  
龍造寺 健介 氏

本多機工は「工場の心臓部」であるプロセスポンプを100%オーダーメイドする産業用特殊ポンプメーカーとして、今年創業72周年を迎えた。「工場があれば液体がある、液体があれば必ずポンプが必要」。本多ポンプは創業当時から、一品一品匠の技で手作り、納入後のアフターフォローまで手を抜かずに取り組む。今では国内のみならず海外65ヶ国、あらゆる産業の工場で活躍している。

## アジアに焦点を当てたグローバル展開

本多機工がグローバル展開に力を入れ始めたのは17年ほど前から。人口増加が見込まれ大成長時代を向かえるアジア諸国に対し、積極的に代理店網の拡大を図った。

アジアは、提携する欧米企業から見ても期待される市場であり、アジアの弊社代理店網を欧米パートナーとシェアすることでアジアネットワーク

が更に拡大、グローバルな業界情報をいち早く掴むことが可能に。また、欧米のニッチトップポンプメーカーとの提携により、幅広いトータルソリューションの提供を実現。

九州の地の利を生かし「現場、現物、現実」の「本多現場主義」をモットーに、こだわりの製品とサービスを巨大アジアに展開する事に成功した。その活力の源泉であるのは高度外国人材であった。

## 高度外国人材の積極的活用

高度外国人材を採用することによってグローバル展開が叶い、その他に①こだわりの製品を海外に効果的に発信

②言葉の壁のない密接なコミュニケーションで顧客の信頼を獲得

③海外ユーザーの真のニーズを掴み寄り添ったオーダーメイドが可能に

④強固なアフターサービス体制の構築等の効果が挙げられる。

更には社内が非常に活性化された。九州はじめ日本各地の大学で修士号・博士号を取得したチュニジア人、カナダ人、中国人、ドイツ人、スペイン人、スリランカ人、アメリカ人、タイ人、韓国人、マレーシア人、フランス人等の留学生を採用してきたが、「隣のデスクは外国人」であること

## のれん分け

九州工業大学で博士を取得し、弊社のグローバル市場の開拓や代理店拡大で大きな成果を上げたチュニジア人社員は入社から4年で部長に昇格、一般社員とは異なる年俸制を実現させモチベーションを高く維持。グローバル事業

拡大に更なる貢献を納めてくれた。しかし、彼はそれ以上にチャレンジしたい！成長したい！という意識が高かった為、弊社の「のれん分け」を提案。自分の得意とする地域・中東で本多機工代理店となる会社を起業した。

福岡大学大学院で修士を取得した中国人社員も弊社で7年の修行を経て、中国大連で起業、「のれん分け2号」となり現在中国全土の案件を一手に担うまでに成長してくれている。

## 私だから出来ること!!グローバル化

私は高校から米国に留学、カリフォルニアの大学在籍時代は日本食レストランでアルバイト、その後様々なご縁でカリフォルニア&ハワイにレストランを展開する日本資本会社の現地代表を務めた。しかしその後38歳で突然の帰国要請があり、20年以上日本から離れていたが一大決心をして、妻の父が創業した本多機工に入社。沢山の逆風を受けながらも家族や社員に認められる為、会社を強く前進させる為、必死で「自分の強みを活かす!」「得意とすることを継続する!」という信念で本多機工のグローバル化に挑戦し、今に至る。



**B-EAT**

ビジネス予備校の  
OB/OG による地域を超えた繋がり

B-EAT 東京 8 期幹事主催によるリアル交流会開催のご案内

この度、第8期幹事チームでB-EAT イベントとして『～縦の繋がりを作ろう～ EAT 同窓のネットワーキング』と題した懇親会を開催いたします。1ヶ月を切ったからのご案内となり恐縮ですが、一人でも多くの方々との出会いをつくりたく、皆さまのご参加をお待ちしております。詳細は、決定次第、改めてご連絡致します。

<開催> 2023年10月7日(土) 17:00～19:30 東京都内にて

**B-EAT** 株式会社人財アジア

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-3丸の内トラストタワー本館20階

[TEL] 03-6300-6460 [Mail] info@eat-star.asia

特別寄稿およびWhat's up? に掲載して下さる方を募集しています。ご希望の方は事務局までお問合わせのほど、お願い致します。